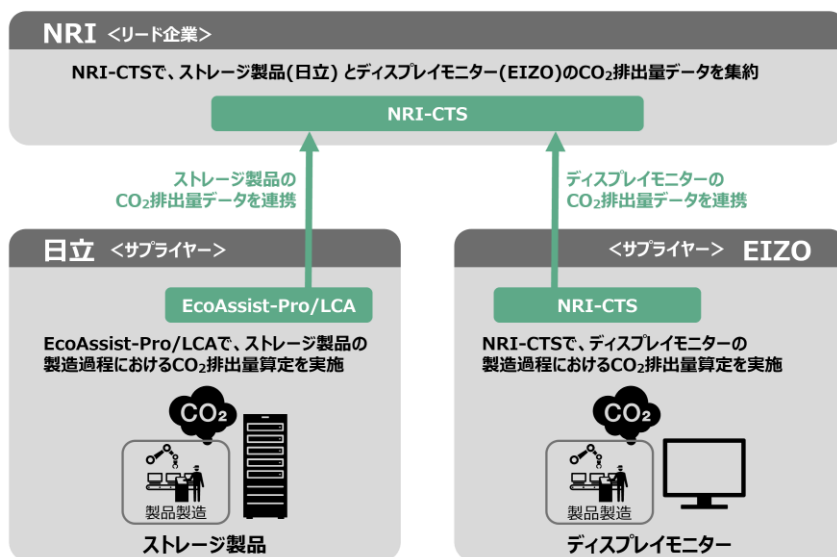


会社名 EIZO株式会社
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号 6737 東証プライム)
問い合わせ先 執行役員 総務部長 比良 浄敬
電話番号 076(275)4121

EIZOが、野村総合研究所、日立製作所とともに WBCSD※¹ Partnership for Carbon Transparency(PACT※²)

実証実験に参画

2023年5月から8月の間、株式会社野村総合研究所(以下、NRI)、株式会社日立製作所、EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)は、WBCSD※¹配下のPACT※²がPathfinder Framework(排出量開示ガイドライン)のオペレーション実装に向けて世界規模で推進しているスケールアップ実証実験に参画しました。実証実験には、NRIがリード企業※³として、日立製作所と当社がNRIにとってのサプライヤーとして参画しています。※⁴



本実証の概念図

本実証実験においては、NRI、日立製作所、当社の3社が協力し、NRIが開発した温室効果ガスの排出を追跡するカーボントレーシングシステム(NRI-CTS)を活用して、自社工場のエネルギー消費量実測値に基づく製品カーボンフットプリントの算定とデータ連携を実施しました。その結果、NRI-CTSを用いてエネルギー消費量実測値を利用した製品カーボンフットプリントを、Pathfinder Networkの仕様に基づいて連携することに成功しました。

具体的には、日立製作所においては自社工場のエネルギー消費量実測値を用いて、製品カーボンフットプリン

トを日立製作所が開発した温室効果ガス排出量算定システム(EcoAssist-Pro/LCA^{※5}) によって算定しました。そして、Pathfinder NetworkのAPIを介し、NRI-CTSにデータを連携して、NRIに製品カーボンフットプリント情報を提供しました。当社においてはNRI-CTSを利用し、自社工場のエネルギー消費量実測値を用いてデスクトップモニターの製品カーボンフットプリントの算定とデータ連携を実施しました。NRIは両社からのデータをもとに、カーボンフットプリントを算定しました。

Pathfinder Networkの仕様に基づいて連携したこの度の成果は、世界最大級の気候変動イベントであるNY Climate Week(2023年9月、米国・ニューヨークにて開催)の関連イベント「Scope 3 Summit - From uncertainty to imPACT」^{※6}の中で、WBCSDから参加者へ報告が行われました。

当社は、2023年5月に低炭素移行計画「Transition to Net Zero」を策定し、2030年までにScope3^{※7}の排出量27.5%削減(2019年度比)、また、2040年度までにネットゼロとする目標^{※8}を設定しています。この実現のためにはサプライチェーン全体での排出量の正確な把握と削減努力が不可欠となりますが、データ連携を行うための共通データフォーマットや接続方式などが確立されていないため、サプライチェーン全体のCO₂排出量把握は容易ではありません。

こうした中、今回の取組みはScope3の実績値に基づく排出量の把握を目指すビジネスパートナーとの協働によるサプライチェーン全体での具体的な削減策の道筋となり、各社の排出量の削減努力を適切に反映することが可能となります。

今後も本実証を通じて得られたノウハウをもとに、サプライヤー及びビジネスパートナーを含むステークホルダーとの協働を加速させながら、映像を通じた持続可能で豊かな未来社会づくりに向けて、EIZOグループの成長戦略を一体的に推進していきます。

※1 WBCSD: World Business Council for Sustainable Development、持続可能な開発のための世界経済人会議。

URL <https://www.wbcsd.org/>

※2 PACT: Partnership for Carbon Transparency、バリューチェーンにおける排出量の透明性を高めることにより、脱炭素化を加速することを目指す取組み。WBCSDが主催。

URL <https://www.carbon-transparency.com/>

※3 リード企業: サプライヤーと、システムを通じて製品カーボンフットプリントデータのやり取りを行う企業のこと。

※4 当社はNRIのデスクトップモニター供給元として参画しています。

※5 日立製作所のEcoAssist-Pro/LCAについては次のURLをご参照ください。

URL <https://www.hitachi.co.jp/ecoassist/lca/index.html>

※6 PACTのイベントについては次のURLをご参照ください。

URL <https://www.carbon-transparency.com/events/2023/09/nyc-week>

※7 Scope3: サプライチェーン排出量のうち、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(Scope1)、他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出(Scope2)を除く、その他全ての排出(製品の部品調達・物流・使用・廃棄、従業員の出張・通勤、投資等)を指す。

※8 当社の削減目標については次のURLをご参照ください。

URL <https://www.eizo.co.jp/company/csr/2/netzero/>

以上